

ブックハンティングで選んだ本と、その本を選んだ理由

ブックハンティングに参加した学生が、ひとり一冊ずつ、選んだ理由を紹介します。

- 1 ダニエル・カルダー（著）、黒木 章人（訳）『独裁者はこんな本を書いていた』原書房、2019年  
C5-16 藤田純矢

独裁者の残した本。それは聖典、もしくは教本。独裁者だからといって彼らが間違った論理で動いているとは限らない。彼らを理解することもまた有権者である我々には必要なのではないか？

- 2 霜田 光一（著）、パリティ編集委員会（編）『歴史をかえた物理実験』丸善出版；新装復刊版、2017年  
M4-31 清水志ノ伸

私がこの本をブックハンティングで選んだ背景には2つの理由があります。一つは、純粋に自分自身の中の興味を刺激されたことです。もう一つはこれを読むことで先人が何を為して今を作りあげたのかを知れると思ったことが理由となります。

- 3 米澤穂信（著）『米澤屋書店』文藝春秋、2021年  
C4-31 沼田春海

私がこの本を選んだ理由は、人気ミステリー作家である米澤穂信さんが20年間に渡る作家生活の中で、「米澤穂信」を形づくってきた本たちを紹介しているというところに魅力を感じたからです。図書館にも米澤穂信さんの本があるので、ぜひ読んでみてください。

- 4 最相葉月（著）『セラピスト』新潮社、2014年  
C4-08 柴田楓

私はブックハンティングで「セラピスト」を選びました。

この本は専門用語を知らずとも人の心や精神のことを深く知れるものになっています。医師とカウンセラーの違いや、それぞれの精神的な病気の曖昧なもやもやとした知識がクリアになる様が面白いと感じました。

- 5 地球の歩き方編集室（編）『地球の歩き方 ジョジョの奇妙な冒険』学研プラス、2022年  
M3-05 伊藤 俊大

私はこの本がジョジョのストーリーを振り返りながら、物語の舞台となった各地の歴史を学ぶこともできるため選びました。歴史以外にも、その場所の料理や文化などを知ることができます。ポップに書かれているので楽しみながら歴史や文化などを学べるので一石二鳥です。

- 6 結城 浩 (著)『数学ガール秘密のノート／複素数の広がり』SB クリエイティブ、2020 年

E3-02 赤沼 秋星

数学ガールシリーズから中高生向けの『秘密のノート』を選びました。その中で「複素数の広がり」というのは二次方程式で突然出てきた虚数とは何を意味するのか、そしてさらにその先にある概念へ話を移します。読みやすくそれでいて興味深い内容なのでぜひ読んでください。

- 7 エドウィン・アボット・アボット (著), 竹内 薫 (訳)『フラットランド』講談社、2017 年

C3-15 越川葉澄

タイムトラベル。それは、誰しものが幼い頃に憧れたことだと思います。

この本は、「次元」について書かれています。2次元に生きる物が3次元の世界に迷い込んだら、その世界はどう見えるのか。さらにその先の次元ではどう変わるのか。このような考え方は、3次元に生きる我々人間が、4次元の世界を理解すること、つまりタイムトンネルの発明につながるかもしれないと思い、『フラットランド』を選びました。SF好きの皆さんにぜひ読んでいただきたいです。

- 8 田近 英一 (著)『凍った地球』新潮社、2009 年

C2 北山勲

スノーボールアースで地球が凍ったときに、生物がどのように生き残っていったのかについて書かれてる本で、地球の歴史に興味があったため、この本を選びました。

- 9 グレグ・ボグナー, イワオ・ヒロセ (著), 児玉 聡 (訳)『誰の健康が優先されるのか 医療資源の倫理学』岩波書店、2017 年

M1 小田桐萌依

住民が100いる中で80人分しか予防接種がない時、20歳と70歳の患者のどちらかしか救命出来ない時などのとても難しい話題に挑戦した作品です。私がこの本を選んだ理由は、帯の紹介文に心を惹かれた事と、表紙が綺麗だったからです。内容はまだ読めていないので、まだ詳しくは知れていないのですが、あらすじを読んで、命に関わる重要な問題をどう考えていくのかに気になりました。また表紙はき黄色と灰色と白を基本として構成されているのがとてもシンプルで、かつ見やすいと思ったので、この本を選びました。

- 10 筒井 美希 (著)『なるほどデザイン 目で見て楽しむデザインの本。』エムディエヌコーポレーション、2015 年

M1 古川玲奈

相手の目を惹きつけるパワポやポスターを作りたい！そんな時に見てほしい一冊です。文字が少なく、本が苦手な人でも十分楽しめる本だと思います。実際の例もたくさん載っているのでぜひ役立ててください。

- 11 渡部 潤一（監修），東辻 千枝子（訳）『ひと目でわかる宇宙のしくみとはたらき図鑑』創元社、2022年

M1 檜山優幸

この本を選んだ理由は2つあります。1つ目は、表紙に惹かれたからです。「天文学の基礎から最新技術まで」というところから、天文学の知識が少ない自分でもわかるかもしれないと思わせてくれたからです。2つ目は、色です。本の中身を少し読んでみましたが、挿絵と字の色のバランスがよく見やすかったです。挿絵も情報量が多すぎず理解しやすかったです。

- 12 河出書房新社（編）『伊能忠敬の古地図を歩く 江戸東京編』河出書房新社、2022年

E1 春日翔太

僕がブックハンティングで選んだ本は『伊能忠敬の古地図を歩く 江戸東京編』です。伊能忠敬がどこをどのようなルートで歩いたかを知ることができるので興味深いなと思い、この本を選びました。また、写真付きでどのような場所かも分かるので楽しみながら知ることができて良いなと思いました。